

〔セグメント間売上消去後〕

□ は'18/4公表値

□ は'18/4公表値

	2018年3月期 第2四半期累計		2019年3月期 第2四半期累計		前年 同期比	2018年3月期 通期		2019年3月期 通期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比	見通し	構成比	
売上高合計	億円 2,198	100%	2,400 億円 2,282	100%	+4%	億円 4,511	100%	5,000 億円 4,700	100%	+4%
<海外売上高合計>	<1,615>	73%	<1,644>	72%	+2%	<3,273>	73%	<3,300>	70%	+1%
営業利益(%)	(16%) 359		350 (16%) 357		△0%	(16%) 700		770 (15%) 700		△0%
電力関連事業	272	12%	242	11%	△11%	544	12%	480	10%	△12%
営業利益(%)	(-) △21		(-) △31		-	(-) △47		(-) △65		-
セラミックス事業	1,185	54%	1,226	54%	+3%	2,407	53%	2,520	54%	+5%
営業利益(%)	(24%) 290		(24%) 289		△0%	(24%) 567		(22%) 565		△0%
エレクトロニクス事業	299	14%	303	13%	+1%	613	14%	620	13%	+1%
営業利益(%)	(0%) 0		(1%) 3		+941%	(1%) 9		(2%) 10		+9%
プロセステクノロジー事業	442	20%	511	22%	+16%	947	21%	1,080	23%	+14%
営業利益(%)	(20%) 90		(19%) 97		+8%	(18%) 171		(18%) 190		+11%

	売上高比	売上高比	前年 同期比	売上高比	売上高比	前年 同期比
経常利益(%)	342 (16%)	330 342 (15%)	+0%	706 (16%)	765 680 (14%)	△4%
親会社株主に帰属する 当期純利益(%)	198 (9%)	200 247 (11%)	+25%	458 (10%)	52 440 (9%)	△4%
ROE	-	-		10.4%	9.2%	
1株利益	61.53円	76.78円		142.42円	136.74円	
配当金(配当性向)	21円	25円		44円(30.9%)	50円(36.6%)	

為替レート(円/USD)

111

110

111

110

為替レート(円/EUR)

127

130

129

130

設備投資	320	15%	508	22%	+59%	717	16%	1300	28%	+81%
減価償却費	145	7%	172	8%	+18%	303	7%	365	8%	+20%
研究開発費	100	5%	106	5%	+6%	211	5%	250	5%	+18%

**第2四半期累計期間の要点・・・増収も営業利益・経常利益は前年同期並み。
当期純利益は増益。**

① 事業別業績概況(売上高、営業利益)

【電力関連】……………減収・赤字拡大

- ・がいし 国内電力会社の設備投資抑制が続き需要が低調であったほか、中国向けの出荷が低調に推移し、減収・赤字拡大。
- ・NAS 大口案件の出荷が無く低調。

【セラミクス】……………増収・利益は前年同期並み

- ・自動車関連 欧州の排ガス規制強化に伴いセンサーや GPF(ガソリン・パーティキュレート・フィルター)の需要が増加し増収。利益は償却費や開発費が増加し前年同期並み。

【エレクトロニクス】……………売上・利益共に前年同期並み

- ・電子部品 中国の携帯基地局投資が低調であることを背景にパッケージの需要が減少した一方、ウエハー製品の需要が増加し、売上・利益は前年同期並み。

【プロセステクノロジー】……………増収・増益

- ・半導体製造装置用製品 データセンター向け等の半導体需要増を背景に、半導体メーカーのメモリ関連投資が高水準で推移し、増収・増益。

② 為替影響: 売上高 $\Delta 2$ 億円、営業利益 $\Delta 4$ 億円

- ・前年同期 111 円→当期 110 円/USD、127 円→130 円/EUR

③ 法人税等 2014年3月期に決議した海外子会社の清算終了に伴い、税負担が軽減。
(期首見通しでは下期の終了を想定)

通期 見通しの要点 …… 増収も営業利益は前期並み。経常利益・当期純利益は減益の見通し。(4月公表値に対しては円安のプラス影響あるも、自動車関連製品やがいし需要減等により下方修正。)

① 事業別業績概況(売上高、営業利益)

【電力関連】……………減収・赤字拡大

- ・がいし 国内需要の低迷に加え、中国・中近東を中心に海外需要も減少し赤字が拡大する見通し。
- ・NAS 国内外共に大口案件無く、赤字が継続する見通し。

【セラミクス】……………増収・利益は前期並み

- ・自動車関連 排ガス規制強化に伴いセンサーや GPF の需要が増加し増収も、利益は償却費や開発費の増加により前期並みの見通し。

【エレクトロニクス】……………売上・利益共に前期並み

- ・電子部品 パッケージの需要が低調に推移する一方、ウエハー製品や HDD 用圧電素子の需要が増加し、売上・利益共に前期並みの見通し。

【プロセステクノロジー】……………増収・増益

- ・半導体製造装置用製品 半導体メーカーがメモリ価格下落を受けて投資延期に動く等、足元の需要は調整局面にあるも、前期比では半導体製造装置の需要が伸びており通期の業績は増収・増益の見通し。

② 為替影響: 売上高 $\Delta 10$ 億円、営業利益 $\Delta 9$ 億円

- ・前期 111 円→当期 110 円/USD、129 円→130 円/EUR
(下期為替前提: 110 円/USD、130 円/EUR)

- ・下期 1 円当たりの影響: USD(売上高 6 億円、営業利益 2.7 億円)
EUR(売上高 3 億円、営業利益 0.5 億円)

③ 配当予想 中間 25 円、期末 25 円の年間 50 円を予定。